

## 封建的人間、資本主義的人間および社会主義的人間

大西広

人間は史的唯物論的に変化・発展するということ

途上国が必要とする資本主義的人間、我々が形成しつつある社会主義的人間  
中国少数民族地域に不足する資本主義的人間、  
中国漢族地域発展の原動力としての資本主義的人間  
日本人の「社会主義性」

私の「株式会社社会主義論」における「所有の社会化」

しかし、「所有 does not matter」という問題  
ベネズエラ、メキシコ、中国新農村における「個人所有の資本主義経営」  
これは、 の論点も含め、金融・証券システムの発展が、最適生産規模の大小を問わず、  
労働者による「利潤」の取得を可能にするという意味でも重要。  
逆に言うと金融システムの未発展あるいは貧者の貧困(による蓄積不足)が、「革命」によ  
る土地収奪などの「所有変革」を必要とした。たとえば、49年の中国革命

金融・証券システムの発展は過剰な資本蓄積を阻止するという「社会主義効果」もある。

「マルクス派最適成長論」の帰結(ref. 『季刊経済理論』42巻1号大西論文)